

第10回澁川市上下水道事業の経営に関する協議会 令和5年7月27日（木）午後2時から

参考資料

使用料改定後の見込みについて

澁川市上下水道局

使用料体系表と使用料金の比較

(使用料金の比較は、下水道を使用する一般家庭において2か月で40m³使用した場合を想定)

「県内12市及び広域圏2町村の平均程度への改定」をベースに細分化した改定例

基本使用料：**30%** 増 超過使用料 20m³まで：**5%** 増、21m³以上：**10%** 増 温泉污水・臨時用：**10%** 増

用途区分	使用料区分	排除汚水量	使用料	
一般用	基本使用料 (下水道等)	8 m ³ まで	630 円	
	基本使用料 (個排)		286 円	
	超過使用料 (1 m ³ につき)	9 m ³ 以上 40 m ³ まで	100 円	
			41 m ³ 以上 100 m ³ まで	113 円
			101 m ³ 以上	125 円
温泉污水 臨時用	1 m ³ につき		13.34 円 194 円	



用途区分	使用料区分	排除汚水量	使用料
一般用	基本使用料 (下水道等)	8 m ³ まで	819 円
	基本使用料 (個排)		372 円
	超過使用料 (1 m ³ につき)	9 m ³ 以上 20 m ³ まで 21 m ³ 以上 40 m ³ まで 41 m ³ 以上 100 m ³ まで 101 m ³ 以上	105 円
			110 円
			125 円
			138 円
			15 円
温泉污水 臨時用	1 m ³ につき		15 円 214 円

$$((630円 \times 2か月) + (100円 \times 24m^3)) \times 1.1 (消費税) = 4,026 円$$

$$((819円 \times 2か月) + (105円 \times 24m^3)) \times 1.1 (消費税) = 4,573 円 (+547円)$$

経費回収率80%を達成するための改定例

基本使用料：**45%** 増 超過使用料 20m³まで：**25%** 増、21~40m³まで：**28%** 増、41m³以上：**30%** 増
温泉污水・臨時用：**30%** 増

用途区分	使用料区分	排除汚水量	使用料	
一般用	基本使用料 (下水道等)	8 m ³ まで	630 円	
	基本使用料 (個排)		286 円	
	超過使用料 (1 m ³ につき)	9 m ³ 以上 40 m ³ まで	100 円	
			41 m ³ 以上 100 m ³ まで	113 円
			101 m ³ 以上	125 円
温泉污水 臨時用	1 m ³ につき		13.34 円 194 円	



用途区分	使用料区分	排除汚水量	使用料
一般用	基本使用料 (下水道等)	8 m ³ まで	914 円
	基本使用料 (個排)		415 円
	超過使用料 (1 m ³ につき)	9 m ³ 以上 20 m ³ まで 21 m ³ 以上 40 m ³ まで 41 m ³ 以上 100 m ³ まで 101 m ³ 以上	125 円
			128 円
			147 円
			163 円
			18 円
温泉污水 臨時用	1 m ³ につき		18 円 253 円

$$((630円 \times 2か月) + (100円 \times 24m^3)) \times 1.1 (消費税) = 4,026 円$$

$$((914円 \times 2か月) + (125円 \times 24m^3)) \times 1.1 (消費税) = 5,310 円 (+1,284円)$$

使用料改定による将来見込みについて（令和7年度当初から改定する場合）

「県内12市及び広域圏2町村の平均程度への改定」をベースに細分化した改定例

○ 使用料収入及び繰入金収入の実績と見込み

単位：百万円

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R7~R9合計
使用料収入（現行）	618	631	628	625	622	619	616	1,857
使用料収入（改定後）					708	704	700	2,112
繰入金収入（現行）	1,489	1,499	1,551	1,523	1,531	1,536	1,574	4,641
繰入金収入（改定後）					1,445	1,451	1,490	4,386
動力費高騰の影響見込み				31	31	31	31	93
繰入金収入（推計）	1,489	1,499	1,551	1,554	1,476	1,482	1,521	4,479

使用料改定により
3か年で**約2億6千万円増**

使用料収入
約**13.7%**の増加

繰入金収入
約**3.5%**の削減
(△約**1億6千万円**)

経費回収率80%を達成するための改定例

○ 使用料収入及び繰入金収入の実績と見込み

単位：百万円

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R7~R9合計
使用料収入（現行）	618	631	628	625	622	619	616	1,857
使用料収入（改定後）					825	821	817	2,463
繰入金収入（現行）	1,489	1,499	1,551	1,523	1,531	1,536	1,574	4,641
繰入金収入（改定後）					1,328	1,334	1,373	4,035
動力費高騰の影響見込み				31	31	31	31	93
繰入金収入（推計）	1,489	1,499	1,551	1,554	1,359	1,365	1,404	4,128
経費回収率					80.8%	80.4%	80.0%	80.4%

使用料改定により
3か年で**約6億1千万円増**

使用料収入
約**32.6%**の増加

繰入金収入
約**11.1%**の削減
(△約**5億1千万円**)

【実績と見込の算定について】

- ・ 使用料収入（現行）：R3＝決算数値、R4＝決算見込数値。R5以降は推計値。
- ・ 使用料収入（改定後）：R3における使用料区分ごとの収益実績をもとにR7以降の推計値を算出。経費回収率については、R4決算見込による污水处理費（1,021百万円）を基準とした。
- ・ 社会情勢の急激な変化による影響として、動力費の増額見込みを算出
- ・ 繰入金収入：R3＝決算数値、R4＝決算見込数値、R5＝予算数値。R6以降は、経営戦略数値を企業会計移行後の数値に置き換えて試算したもの